

2010・12・11

# 九条の会

第143号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303  
TEL 03-3221-5075  
FAX 03-3221-5076

## 交流のなかで生まれる新しい発想

### 四国ブロック交流集会開く

「九条の会四国ブロック交流集会」が11月21日、愛媛県四国中央市で開かれ、四国4県から180人が参加しました。

今回の交流集会の事務局を担当した「徳島9条の会」の中嶋信事務局長の開会あいさつにつづいて小森陽一「九条の会」事務局長が『「九条の会」の歩みとブロック交流集会の意義』と題して特別報告をしました。

共感をよんだのは、全体会における4県代表の報告で、全戸を対象とした宣伝・署名活動で賛同者を増やすことを強調（香川県・九条の会三豊・観音寺）、河川敷を使って多彩におこなわれた九条祭り（徳島県）、“平和の旅”など女性たちの生き活きとした活動（高知県・「女性の会」）、過疎化がすすむ村での全住民を対象とした活動（愛媛県・久万高原9条の会）などの報告でした。

午後は4つの会場に分かれての分散会。喜びあり、悩みありの発言がつづき、2時間30分の時間はあっという間にすぎ、もっと時間がほしいとの要望もだされました。参加者からは一様に、こうした交流集会をつづけてほしい、との感想がよせられまし

た

### 感想文から

◎こうした交流会は大変励みになります。これからも弛緩のない運動のため、やっぴいくとよいと思います。

◎香川もすごい、徳島もすばらしい、女性の会も立派ですね、久万もしびれたよ。

◎歌もみんなの話もよかった。いかに次の世代に引継ぐかが大切であると実感しました。楽しくなければ続かない。

◎ごくろうさまでした。やはり集まることが大切ですね。

◎ぜひとも、これからもできれば、1～2年に1回は開いてほしい。

◎有難うございました。色々勉強になりました。ここで学んだことウチで生かしていきます。

◎四国の中で頑張っている人が沢山いることがはじめてわかりました。

### 新安保懇報告を批判——事務局学習会

「九条の会」は11月27日、東京都内で事務局が主催する学習会「新安保防衛懇報告と憲法9条」を開催、100人余が参加し

ました。

学習会ではまず、東京新聞編集委員の半田滋さんが「融解する日本の安全保障政策」と題して講演。民主党政権発足から1年が経過し、その安全保障政策がどのようにかわったかを検証しつつ、「防衛懇報告」の危険性を強調しました。

ついで、「九条の会」事務局の渡辺治さんが、「民主党政権下の日米同盟と防衛政策～新安保防衛懇報告を素材として」と題して講演。新安保防衛懇報告は民主党政権ではじめての安保・防衛政策であるが、自民政権時代の防衛政策の踏襲であるとともに、それを修正・加速したものという面があると指摘しました。

それぞれの講師に対する会場からの質問をうけつけましたが、講師の話にかなり踏み込んだ質問があいつぎました。

### 趣味や文化での活動を交流

**【埼玉】** 趣味や文化の分野で活動する人々によって結成された「九条の会」10団体がよびかけた「九条文化祭プレステージ」が10月21日、さいたま市で開かれ、約150人が参加しました。

会場では参加団体からの書、絵画、写真などの展示、参加団体による紙芝居や落語、民話語りなどの上演がおこなわれました。

主催者からは、「豊かに楽しく憲法を守り生かす取り組みを、改憲をめざす勢力にみせつけましょう」とのよびかけとあわせ、民主党などによる衆院比例定数削減の企てに反対する世論を急いで広げようとの訴えがおこなわれました。

### 75人が絵本を群読

**【岐阜】** 岐阜市と周辺の30の「九条の会」でつくる実行委員会の主催による「平和のつどい」が11月3日開かれ、800人の市民が参加しました。

つどいでは、75人で絵本『ヤクーバとライオン』を群読しました。アフリカの奥地で勇士になるためライオンを倒そうとしたヤクーバが、傷ついたライオンを前にたたかない勇氣こそが信頼と平和を得ることを描いた作品です。

この絵本を翻訳した柳田邦男さんも参加し、「子どもの心の発達と絵本」と題して講演しました。

### 多彩な企画で9条まつり

**【東京】** 九条の会東京連絡会と都内各地の九条の会でつくる実行委員会の主催で11月13日、「東京9条まつり～生きいき憲法」が、大田区産業プラザの1階から6階までを借りきって開かれ、3000人を超える参加者でわきかえりました。

都丸哲也実行委員長が、「東京の九条の会がさらに発展するための答えを探し楽しむまつりに」とあいさつ。脚本家のジェームス三木さんと東京大学教授の小森陽一さんの対談、99歳の日野原重明・聖路加国際病院理事長の「生きいき憲法」と題する特別スピーチなどがおこなわれました。また、映画・音楽・演芸・展示等多彩な企画も。参加者からは、「歌あり、トークあり、料理あり。9条による平和があつてこそ、このような企画ができると実感した」、「この国がおこなった侵略戦争の実態がわかった」などの感想が寄せられました。